


みんなで考えよう！


3市町合併

湖周都市合併市民懇談会から


5月25日から6月3日まで市内5か所で開催した合併市民懇談会で、参加いただいた市民のみなさんからのご意見・要望・質問内容のうち、多かったものをお知らせします。
もう一度3市町合併の効果について考えてみましょう！




 合併しなければ自立ができないように受け止められる。茅野市、富士見町、原村は将来どうなるのか。合併しなければ将来本当に望みがないのか、自立できないのか。

 合併をして効率の良い行政体を作っていくことが重要。
合併しても、しなくても相当の努力が必要であり、合併しない市町村では、負担増・サービス低下の案も出している。

諸々の問題については取り決めれば良い。
諏訪湖周は地域的にも文化的にも一つである。この3市町それぞれ小さな都市が行政の高い壁を乗り越えるには合併以外に何も無い。高い目標を掲げて合併を進めてほしい。


 諏訪湖を中心とした3市町が合併をして、その後、諸々の問題については取り決めれば良い。


今回、4回目の6市町村合併の協議であった。地方分権の時代に対応した、諏訪湖周都市の合併で少子高齢社会に対応し、行財政基盤を強化したい。一生懸命取り組むので、今後ともよろしくお願いしたい。

 今回、4回目の6市町村合併の協議であった。地方分権の時代に対応した、諏訪湖周都市の合併で少子高齢社会に対応し、行財政基盤を強化したい。一生懸命取り組むので、今後ともよろしくお願いしたい。


◇早く法定合併協議会を作って、細部にわたって市民の聞きたいことが、はっきり説明できるようにしたほうが良い。


◇財政が苦しいことは充分理解したつもり。合併にもって行くには市民が一緒にということが大事。

 諏訪市、下諏訪町、岡谷市の主な課題に、合併特例債を使用するということか。合併特例債は、何の事業に使用するのか。


 法定合併協議会が設置されてから、何に合併特例債を使うかを決める。

 アンケートは考えているのか。


 法定合併協議会で、新市の姿がある程度明らかになった段階で説明会を開催し、その後アンケートを行なっていく。


 将来を考えた場合、合併は必要だ。行政から住民に対しての最低限の説明責任が足

りない。今後、出前講座等で合併説明会をしていくのか。賛成、反対を問わず外郭団体とも合併討論会をする予定はあるか。

 出前講座では、合併問題についての予約がすでに入っている。さらに十分な説明を行っていく。

また、各種団体とも合併問題について積極的に話し合っていく。

 合併すると人件費が25億円減るのは大きなメリットだが、職員削減に16年もかかるのは長すぎる。3年から5年で済むのか。

 合併特例措置のメリットを充分活かしながら、サービスを低下させないよう、採用を控えるソフトウェアング（円滑な移行）をしていく。

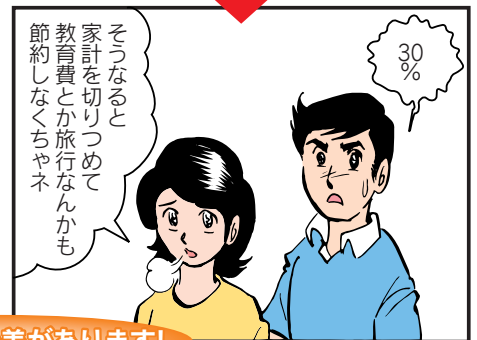
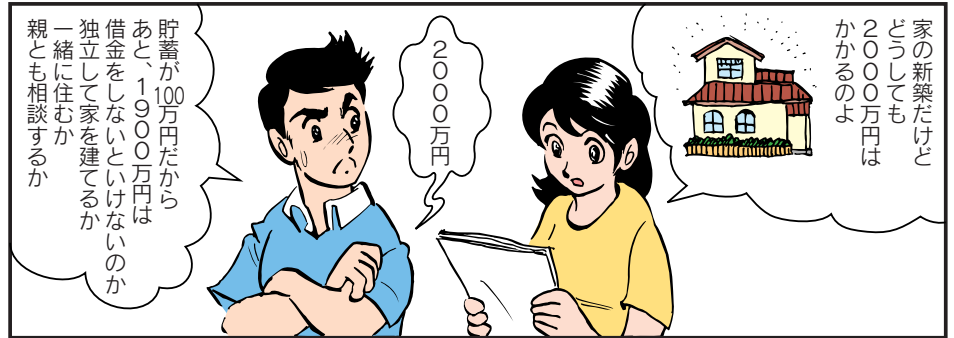
◇住民投票やアンケート調査は必要とないと考えられる。議会で決めればよいことだ。

◇3市町での合併であるから、3市町長がそろって合同で論議する場を検討してほしい。

合併特例法 による 財政的な支援策

合併特例債とは、どのようなものが、 家の新築に例えて説明します!

(基準に基づき、事業費の95%を起債事業としました)



40ポイントの差があります!

合併することにより、経費の削減が可能となりますが、新市の一体化のための財源も必要です。
合併当初は経費の削減も困難なことから、合併特例債と交付税の激減緩和措置（急に交付税が減少しないための合併算定替）があります。

合併して人件費などを削減して、足腰を強くしようとする市町村に、国が援助する制度です。

市が事業を行う場合、毎年収入となる税金からお金を出す場合と、計画的にローン（起債）を組んで、翌年度以降に、元金と利子を支払う方法があります。
岡谷市では、学校・保育園等の施設、道路の整備等に、最低限毎年約10億円が必要です。
住宅ローンにも、利率の高いもの、低いものがあり、利率の低い有利なローンに切り替えている家庭もたくさんあります。
起債にも、元利償還金（返済する元金と利子）の一部を、普通交付税として国でみてくれる制度があります。通常の道路を建設する場合、交付税算入率（普通交付税として国で援助してくれる割合）は通常30%程度ですが、合併し地域の一体化のために使う合併特例債は70%となっており、同じ事業・仕事をして、国の援助が多い合併特例債のほうが有利といえます。

◆合併に関するお問い合わせは…
広域合併推進室 ☎23-4811（内線1521）



駅周辺地区の活性化を目指して 再整備に向け、ララオカヤを取得

市では、岡谷市の玄関口に位置し、市の顔でもある岡谷駅前市街地再開発ビル「ララオカヤ」の活性化が、岡谷のまちづくりにとって極めて重要な課題と捉え、諏訪バス㈱所有の床（土地・建物）を1億7127万5千円（税込）で岡谷市土地開発公社において取得することとし、6月28日（月）に諏訪バス㈱と売買契約を結びました。

諏訪バス㈱が所有する床（土地・建物）に対する不動産鑑定価格は2億50万円（税込）でしたが、取得価格はこれを下回る額で合意にいたしました。

なお、不動産鑑定では、土地全体の更地価格は6億4100万円と評価されており、建物全体の解体費用（見込額約3億5000万円）を差し引いても、低廉な価格で合意が得られたと考えています。

不動産鑑定の考え方

不動産鑑定は、現在のララオカヤの使用状況や収益性を考慮し、土地建物を一体の物として、その市場性を総合的に判断し算出されたものです。

建物の利活用

ララオカヤは、その構造形態上、大型商業ビル以外の用途に転用することが難しい建物であります。また、現時点では、建物全体を効果的に活用できる公共的用途が見出せない状況であります。

このため、建物の利活用については、市民懇話会や国の都市再生モデル調査で提案された活用例を基本として、できるだけ早期の再整備を視野に入れながら、現在、地元権利者等の方々が営業している1階のみを利用していくこととしました。

1階では、地元権利者等の方々に引き続き営業をしていただくとともに、イベントが開催できる市民広場や図書コーナー、産直コーナー、チャレンジショップ、フリーマーケットボックスなどに利用していく予定です。

なお、チャレンジショップ、フリーマーケットボックスについては、使用条件等決まり次第、市民のみなさんにお知らせする予定です。

今後、これら施設の利用状況をしっかりと検証していくとともに、その他の利用方法についても、市民のみなさんにご相談させていただく中、柔軟に対応していきたいと考えています。

10/1 リニューアルオープンに向けて

6月定例市議会では、岡谷市土地開発公社での取得に係る債務負担行為の設定をはじめ、今年10月1日のリニューアルオープンに向けた、建物の改修工事費および建物の管理経費に係る歳出、ならびに、土地建物賃貸料等の歳入を補正予算として上程し、議決をいただきました。

歳出の内訳は、再整備基本計画調査業務委託料300万円、間仕切り等の内装工事ほか漏水箇所の修繕、設備工事費2500万円、市民広場の展示パネルなどの備品購入費900万円、図書等を含めた事務用消耗品費115万円、オープン記念イベント負担金80万円、建物管理経費の負担金3260万円、合計7155万円となっております。

今後、改修工事が始まり、市民のみなさんには、ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いします。

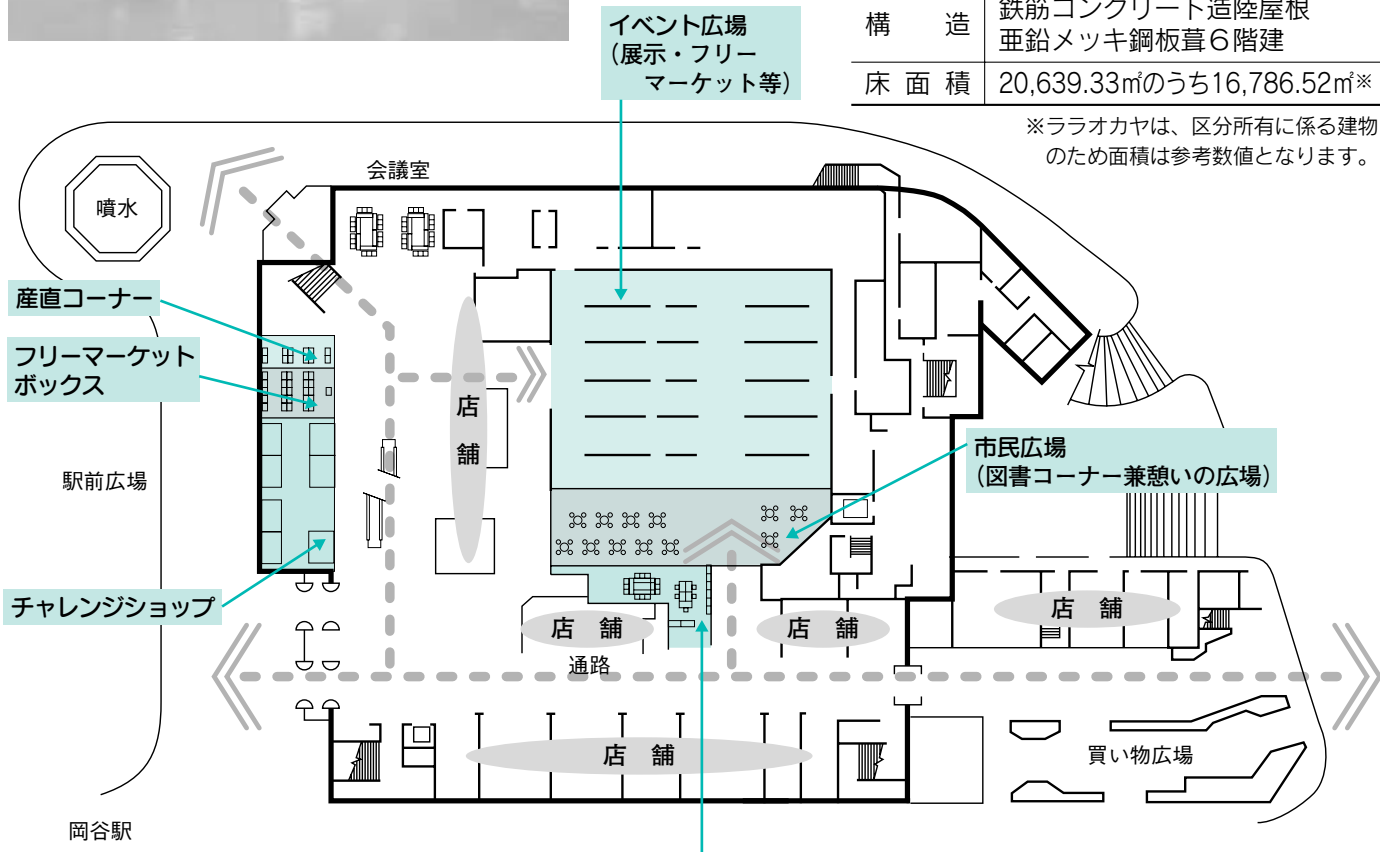
[1階の店舗等は、改装中も通常どおり営業をしています]



取得する土地・建物

◆土地	
地番	岡谷市中央町一丁目1番
地目	宅地
地積	7,188.20㎡のうち6,279.67㎡※
◆建物	
所在	岡谷市中央町一丁目1番地
建物番号	ララオカヤ
構造	鉄筋コンクリート造陸屋根 亜鉛メッキ鋼板葺6階建
床面積	20,639.33㎡のうち16,786.52㎡※

※ララオカヤは、区分所有に係る建物のため面積は参考数値となります。



1階

管理組合事務局
岡谷市役所岡谷駅前出張所



ララオカヤの利用方法について ご意見を聞かせてください!

◇ララオカヤに関する
お問い合わせは…

企画課

☎23-4811 (内線1522)

FAX 24-0689

E-mail:kk@city.okaya.nagano.jp

《来て、見て、楽しんで!》

ララオカヤリニューアルオープン記念イベントを

10月1日(金)~3日(日)に開催する予定です。

フリーマーケット、福引大会等、「来て、見て、楽しい」企画をたくさん用意しますので、ご家族そろってお出かけください。